

病虫害発生予察注意報第 4 号

佐賀県

作物名： 早植え及び普通期水稻

病虫害名： 斑点米カメムシ類



クモヘリカメムシ成虫

1. 注意報の内容

発生地域： 早植え及び普通期水稻栽培地域
発生量： 平年より多い

2. 注意報発令の根拠

1) イネ科雑草地での発生状況

7 月 15～21 日に行ったイネ科雑草におけるすくい取り調査（18 地点）では、クモヘリカメムシの成虫・幼虫ともに平年より多く、ホソハリカメムシの成虫は平年よりやや多く、幼虫は平年より多かった（表 1）。これらは斑点米を生じやすい種であり、幼虫の発生も多いことから、今後も発生が多く推移すると考えられる。

表 1 イネ科雑草における斑点米カメムシ類のすくい取り調査結果（7 月後半調査）

	クモヘリカメムシ		ホソハリカメムシ		アサジガカメムシ		シロホカメムシ類		ミナミアカメムシ	イネカメムシ	
	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	成虫	幼虫
本年（R8）	15.2	11.0	2.6	1.4	0.3	0.1	8.8	6.7	0.06	0.3	0
平年比	多	多	やや多	多	並	やや少	やや少	並	並	多	並
平年	2.9	3.0	1.9	0.5	0.2	0.5	13.3	7.6	0.03	0.02	0
前年（R7）	1.7	0.6	4.1	0.1	0.1	0.6	14.2	8.6	0.2	0.2	0

注）表中の数値は、すくい取り調査（捕虫網 20 回振り）における地点当たりの平均捕獲虫数。
平年値は過去 10 年（H28～R7）の平均値。

2) 今後の気象

九州北部地方の 1 か月予報（福岡管区气象台 7 月 23 日発表）では、向こう 1 か月の気温は平年より高いと予想されており、本虫の発生・活動に好適な条件となる見込みである。

3. 防除上注意すべき事項

- 1) 水田周辺の雑草地（畦畔、休耕田、空き地等）は斑点米カメムシ類の増殖・飛来源であり、出穂直前以降の除草による水田内への誘い込みを防ぐために、除草作業は出穂 10 日前までに行う。
- 2) 薬剤防除は、穂揃い期及び乳熟期（穂揃い期の約 10 日後）の 2 回実施する（図 1）。
- 3) イネカメムシは、他の斑点米カメムシ類と異なり、水稻の出穂始めから籾を吸汁して不稔及び基部斑点米を生じさせる。このため、出穂前にイネカメムシの発生を認めた圃場では、通常の斑点米カメムシ類の防除適期である穂揃い期から乳熟期の防除に加え、発生状況に応じて出穂期の防除を行う。

4) 防除対策の詳細は「佐賀県総合防除計画（佐賀県病虫害防除のてびき）」を参照する。

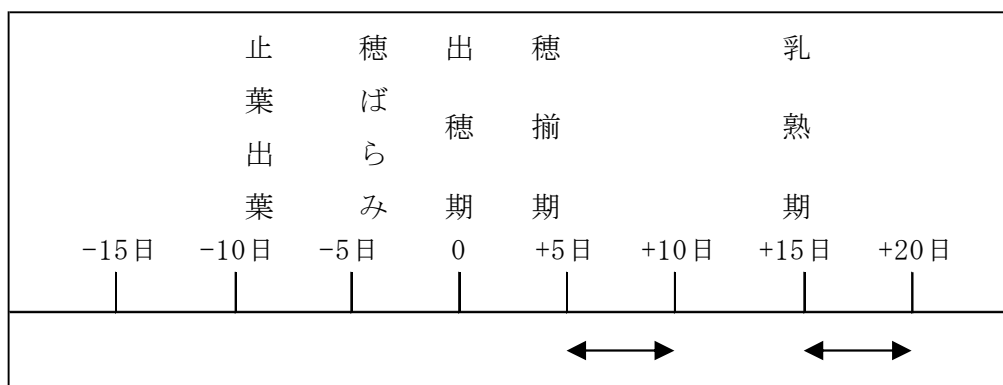


図1 斑点米カメムシ類の防除適期

○佐賀県総合防除計画（病虫害防除のてびき）

https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00321928/index.html



連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病虫害防除部

〒840 - 2205 佐賀市川副町南里 1088

TEL (0952) 45 - 8153 FAX (0952) 45 - 5085

Mail nougyougijyutsu@pref.saga.lg.jp

ホームページアドレス https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00321899/index.html

